

# 八百津町長選挙 立候補者アンケート

## 館林 ひさよし 氏 アンケートのご回答

### 1) NPOへの期待について(300字以内)

現代社会では社会的課題が多様化する中で、地域の課題解決のために様々なまちづくり活動団体(以下「NPO等」という。)が活動しています。NPO等について、八百津町のより良いまちづくりのために、期待することはありますか。

はい                      ・                      いいえ                      ・                      その他

NPO等の団体は行政の手が届かない部分で、住民の福祉の向上に大きく貢献してくれていると思う。八百津町でも現在、福祉有償運送、子ども食堂などの事業を展開する団体が活躍している。また、地域の活性化に向けて拠点をつくり地域を盛り上げている団体も複数ある。今後もそういった団体の活動により、地域が活性化することを望むが、高齢者が増加することで、活動が停滞することが考えられる。また、高齢者の増加は新たな福祉ニーズが必要になると思われ、NPO等の活動はますます多様化、複雑化する。それに対しては行政と協働で対応することが望ましく、その仕組み作りが必要。

### 2) NPOへの活動支援施策について(300字以内)

八百津町には「協働のまちづくり事業補助金制度」があり、NPO等の事業に対して補助金を出しています。

NPO等の活動をより推進していくために、団体の支援や活動費の補助、その他に活動支援施策は必要だと考えますか。不要な場合はその理由、必要な場合はお考えの施策がありましたら、具体的にお答えください。

はい                      ・                      いいえ                      ・                      その他

地域を盛り上げてくれる団体の活動や、福祉サービスの一翼を担ってくれる団体の活動に対しては行政の補助金等は必要である。八百津町が現在行っている「協働のまちづくり事業補助金制度」では採択に条件が多いこと、補助の回数が決まっていることなどから、継続的な支援にはつながっていない。本当に住民にとって必要な活動に対しては継続的な支援が必要である。特定の団体への支援は倫理的に難しい面があるが、努力する団体には何かしら支援する仕組みを作りたい。

3) NPOとの協働関係の構築について(300字以内)

八百津町の「第5次八百津町総合計画」では、「第4章-7 協働による行政の推進」において、八百津町と町民の協働の意義について書かれています。

八百津町のまちづくりの為に、八百津町とNPO等が協働関係を築き、NPO等との協働関係の構築・発展を進めていく必要があると考えますか。不要な場合はその理由、必要な場合は協働関係の構築やその関係を有効に運用する為にお考えの施策等ありましたら、お答えください。

はい

いいえ

その他

Q2でも答えたように、特定の団体に対する支援は制度的に難しい面がある。しかし、行政ではカバーできない住民福祉を推進するためにはNPO等の活動は不可欠である。行政とNPO等との協働関係構築には条例等による、ある程度の規制は必要である。そのうえで、団体、行政、住民それぞれがウィンウィンの関係になることが望まれる。そのためには、行政と協働する団体には収支の透明化や監査を受け入れるなどの条件をつけた認定制度を設けたい。

ご協力ありがとうございました。